

## 紫木蓮

月のない夜

墨色の空間

その中に浮かび上がる

肉厚の花びらの群れ

ああ

孤独な心象世界に咲く

紫木蓮

存在すること自体の無目的性

それ故の怖れと装飾——

それらに沈黙し

瞑想する

あたかも現実ではなく

抽象であるかの如き

ああ

紫木蓮

おぼろげな滲み

その花卉の中に包むもの

幹も枝も、その輪郭を失い

ただ花卉だけが浮いている

対峙することの必然

紫木蓮

(2012.4.20)